



2021年3月期決算補足説明資料

証券コード：2108 日本甜菜製糖株式会社

2021年5月11日



1. 【DM三井製糖ホールディングスと資本業務提携】

当社はDM三井製糖HD（三井製糖と大日本明治製糖が経営統合）と資本業務提携契約を締結いたしました。（2021年1月15日）

2. 【当期の業績 減収増益】

売上高は国内砂糖消費量減少の影響が大きく、減収となりました。営業利益は、主に飼料事業のビートパルプ増産により、増益となりました。

3. 【指名・報酬委員会を設置】

2021年2月に、社外取締役を過半数とする指名・報酬委員会を設置いたしました。

4. 【自己株式を購入】

2021年2月に19万株を購入いたしました。（発行済株式総数の1.2%）



砂糖業界を取り巻く事業環境と課題

【事業環境】

- ・人口の減少、甘味需要の多様化
- ・TPP や多数の国との経済連携協定の進展
- ・今まで以上に国際的な競争にもさらされる等の厳しさが増加

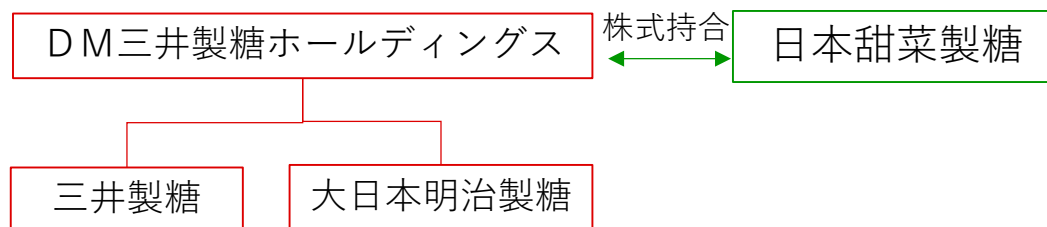
【課題】

- ・各社において事業基盤の更なる強化が課題

当社の狙い

- ・生産原料資源の確保、我が国の砂糖産業全体の安定的運営への貢献を図る
- ・DM三井製糖ホールディングスと共に、技術者の交流による生産技術の伝承や向上を果たす
- ・地域経済に貢献し、我が国砂糖産業の健全な発展に貢献する

本資本業務提携後の体制（概略図）



※2021年4月1日経営統合

2021年1月15日調印



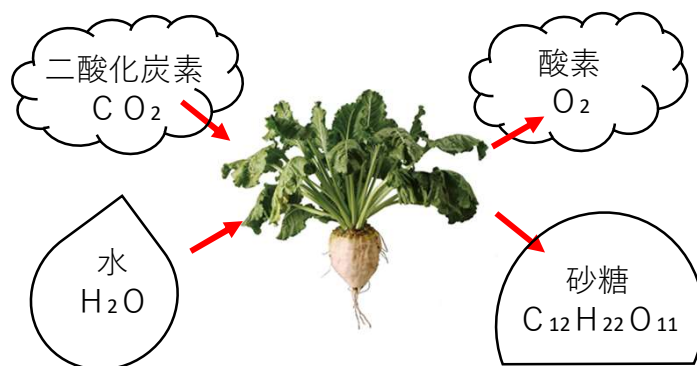
左から 三井製糖 森本社長
日本甜菜製糖 恵本社長
大日本明治製糖 佐藤社長



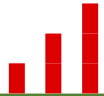
目次

4

1. 決算概要 5 P ~
2. 日甜グループ中期経営計画 14 P ~
3. トピックス 19 P ~
4. 参考資料 22 P ~



※「てん菜」は、「ビート」とも呼ばれる砂糖の原料となる植物です。効率よく二酸化炭素を固定し根部に砂糖分を蓄えます。



1. 決算概要



決算概要

6

- ・ 砂糖の国内消費量減少を主な要因とする売上高の減少
- ・ てん菜の収量増に伴うビートパルプの増産により飼料事業が増益
- ・ 営業利益は前年比+274百万円、計画比+589百万円

単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期			
	通期実績	通期実績	前年同期比	達成率 ※	当初 通期計画 ※
売上高	57,021	54,792	△3.9%	97.8%	56,000
売上原価	40,996	38,422	△6.3%	—	—
売上総利益	16,025	16,369	2.1%	—	—
販売費及び一般管理費	14,410	14,479	0.5%	—	—
営業利益	1,614	1,889	17.0%	145.4%	1,300
売上高営業利益率	2.8%	3.4%	—	—	2.3%
経常利益	2,085	2,349	12.6%	138.2%	1,700
売上高経常利益率	3.7%	4.3%	—	—	3.0%
当期純利益	1,340	1,642	22.5%	149.3%	1,100

※達成率は2020年5月12日公表の当初通期計画の数値をもとに計算しております。なお、連結業績予想は2021年2月9日に修正しております。



セグメント別 砂糖事業

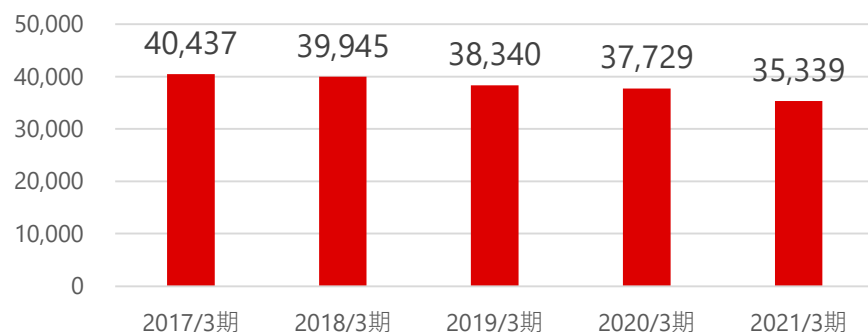
7

単位：百万円

	2020/3期	2021/3期	増減
売上高	37,729	35,339	▲2,390
営業利益	▲613	▲716	▲102

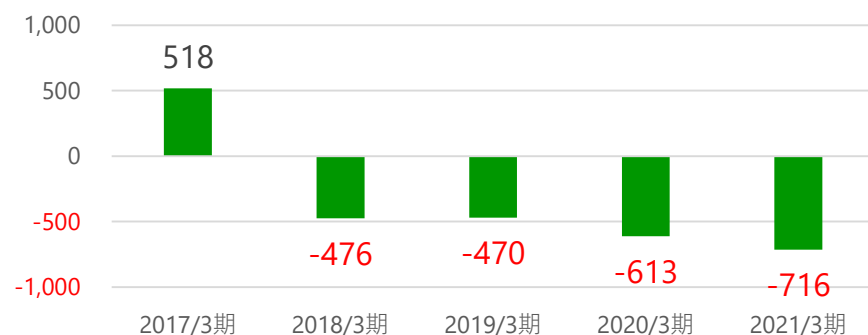
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



- 売上高が前期比6.3%減、営業損失が拡大
- コロナ禍により砂糖消費量が減少
- 出荷低迷に伴い保管費の増加
- ビート原料糖のたな卸評価損

- 売上高はてん菜の豊凶、海外砂糖相場、国内砂糖消費量等、外部要因の影響大
- 一定の数量を超えるビート糖は、安価なビート原料糖として販売
- 国内消費量の減少により、ビート原料糖の販売量が増加し、売上高は減少傾向

- ビート原料糖は販売価格が低く、期末在庫量が増えるとたな卸資産評価損が拡大



セグメント別 食品事業

8

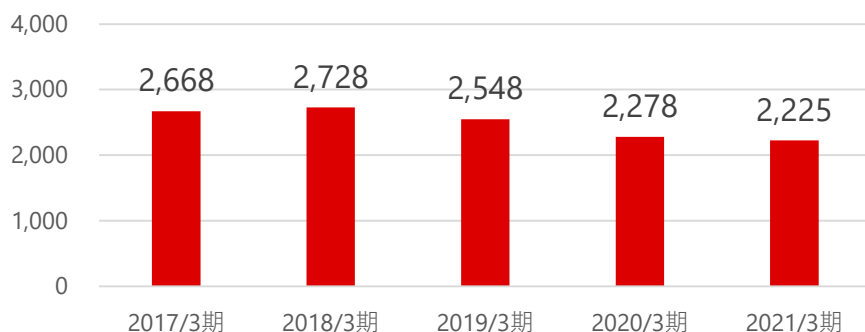
単位：百万円

	2020/3期	2021/3期	増減
売上高	2,278	2,225	▲52
営業利益	▲70	23	+93

- イーストは、業務用が減少、家庭用が増加
- オリゴ糖等食品素材（ラフィノース、ベタイン）販売が伸び悩み

売上高

単位：百万円



- イーストはほぼ販売数量を維持
- オリゴ糖（ラフィノース）、ベタインの生産量減少、素材で苦戦
- オリゴ糖含有液状甘味料の拡販により売上の確保に努めている

営業利益

単位：百万円



- オリゴ糖等食品素材の販売回復が課題



セグメント別 飼料事業

9

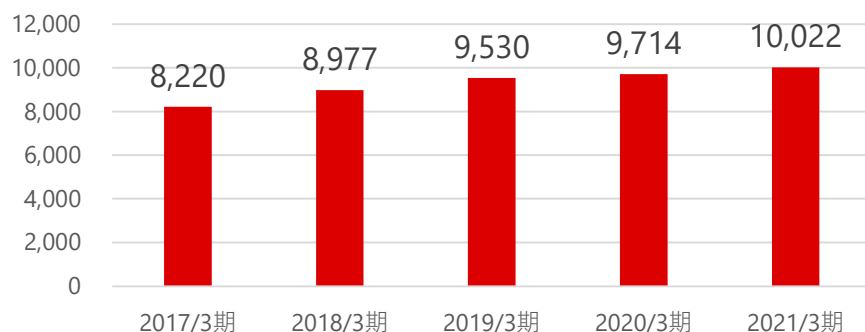
単位：百万円

	2020/3期	2021/3期	増減
売上高	9,714	10,022	+ 307
営業利益	929	1,164	+ 234

- 配合飼料売上数量は増加、販売価格上昇、販売費減少
- 原料てん菜収量増に伴うビートパルプ増産
- 肉牛、仔豚、仔馬用への販路拡大を検討

売上高

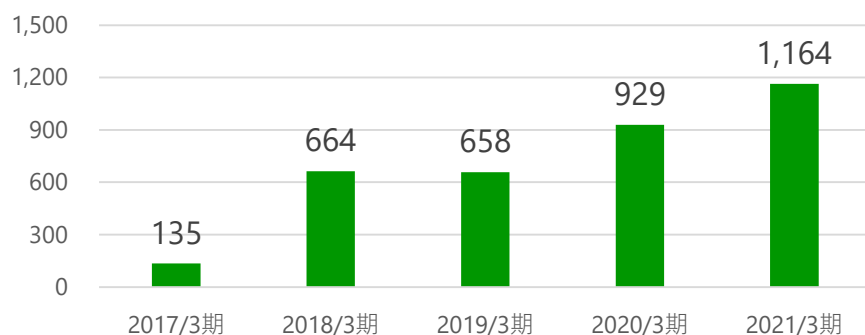
単位：百万円



- 機能性のある独自商品を継続的に市場へ投入
- ビートパルプ売上高はてん菜の豊凶に依存

営業利益

単位：百万円



- とうもろこし等原料価格が製造コストに大きく影響
- 2017/3月期はてん菜不作によるビートパルプ販売数量減少の影響が大きい



セグメント別 農業資材事業

10

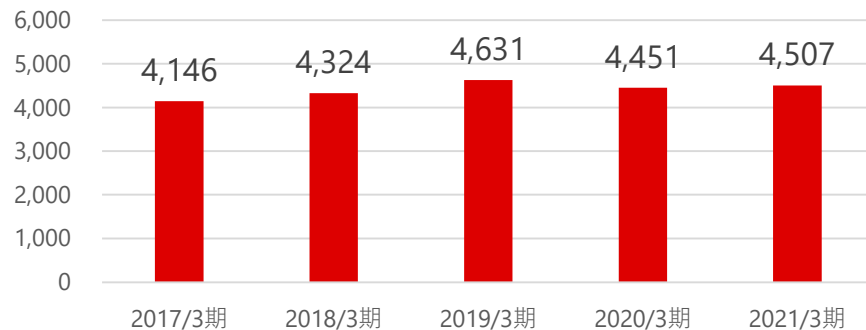
単位：百万円

	2020/3期	2021/3期	増減
売上高	4,451	4,507	+56
営業利益	410	470	+59

- 直播拡大によりビート用紙筒販売が減少
- そ菜用紙筒が増加（輸出も増加）
- 培土等が減少するも移植機、播種機の売上が増加

売上高

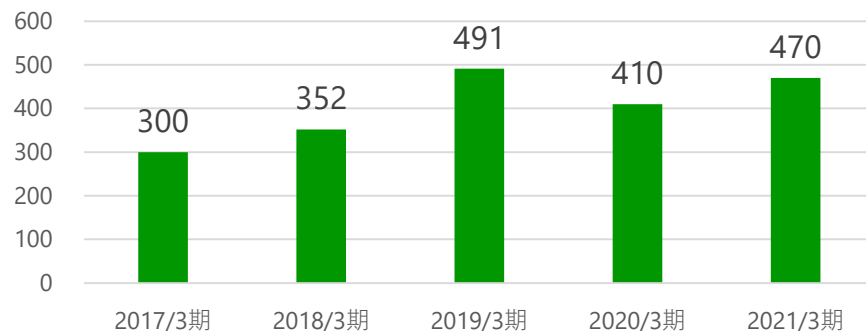
単位：百万円



- ビート用紙筒の売上は減少の趨勢
- ネギ用を主としたそ菜用紙筒で売上を補完、海外展開も積極的に推進
- ビート用移植機は、年度により受注数量の変動が大きい

営業利益

単位：百万円



- ビート用紙筒の減少を、そ菜用紙筒、農業機材の販売で利益補完、増益を図る
- 2019/3期はビート苗生産設備の受注、ビート用移植機受注量の増により大幅増益

※直播：育苗ポット等を使用せず、直接田畑に種をまくこと



セグメント別 不動産事業

11

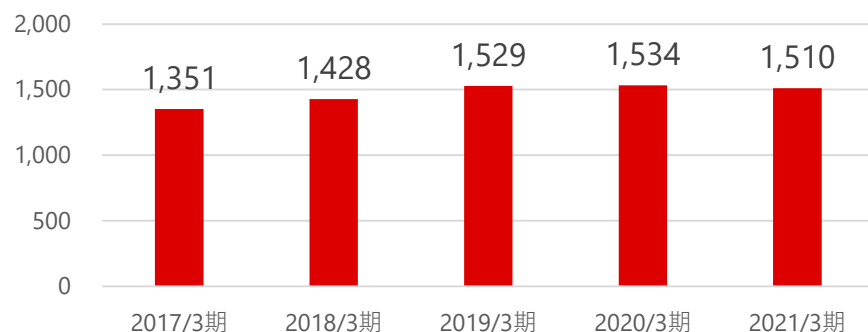
単位：百万円

	2020/3期	2021/3期	増減
売上高	1,534	1,510	▲24
営業利益	852	866	+ 13

- 一部物件の賃料の減少
- 2020年10月に屋内ゴルフ練習場の土地賃貸開始

売上高

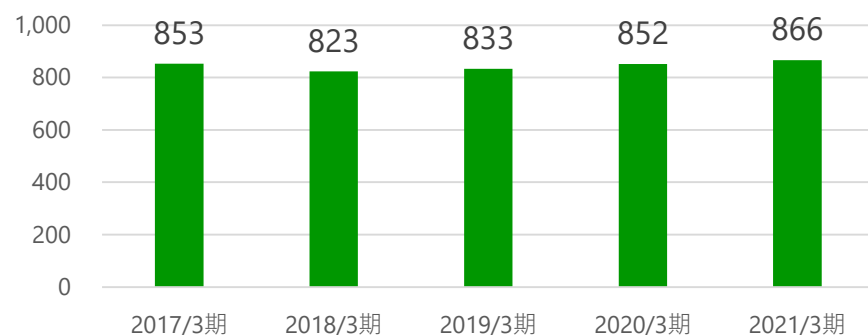
単位：百万円



- 神田オフィスビル、保育所、医療ビル等で収益を拡大
- 収益物件として、新規オフィスビル取得に向けて検討中

営業利益

単位：百万円



- 神田オフィスビルの減価償却費が減少したため、収益改善
- 各テナントとの友好的な関係の維持に努める



セグメント別 その他の事業

12

単位：百万円

	2020/3期	2021/3期	増減
売上高	1,312	1,186	▲125
営業利益	113	79	▲34

- スポーツレジャー施設、ガソリンスタンドの来客数が減少
- 子会社2社が減収

売上高

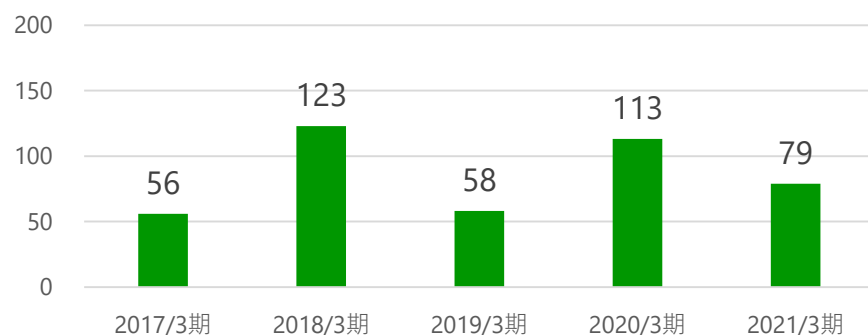
単位：百万円



- スポーツレジャー施設、書籍は経済動向に左右される傾向が大きい

営業利益

単位：百万円



- 農産物の豊凶により輸送請負量が増減



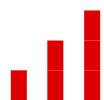
次期予想

13

- ・ 砂糖消費量は減少傾向にあるが、砂糖相場の水準は堅調
- ・ 砂糖消費の減退があれば収支悪化の可能性も
- ・ 成長事業として位置付けている食品事業、飼料事業、農業資材事業の収益拡大を目指す

単位：百万円

	2021年3月期		2022年3月期			
	第2四半期 (累計) 実績	通期実績	第2四半期 (累計) 計画	通期計画	第2四半期 前期比	2021年 3月期比
売上高	24,862	54,792	28,000	57,000	12.6%	4.0%
売上原価	17,358	38,422	—	—	—	—
売上総利益	7,504	16,369	—	—	—	—
販売費及び一般管理費	6,638	14,479	—	—	—	—
営業利益	866	1,889	1,400	1,800	61.6%	△4.7%
売上高営業利益率	3.5%	3.4%	5.0%	3.2%	—	—
経常利益	1,068	2,349	1,700	2,300	59.1%	△2.1%
売上高経常利益率	4.3%	4.3%	6.1%	4.0%	—	—
当期純利益	715	1,642	1,200	1,500	67.7%	△8.7%



2. 日甜グループ中期経営計画



経営理念

日甜グループは社是「開拓者精神を貫き、社会に貢献しよう」のもとてん菜・てん菜糖事業の継続、さらに各事業を成長させ、砂糖事業・不動産事業に続く第2の柱を構築し、社会的責務を果たしてまいります。

経営方針

- 「新しい価値の創造」と「チャレンジ」で課題に取り組む。
- S D G s を踏まえ、持続可能な社会の実現を目指す。
- 持続的なてん菜・てん菜糖事業を構築する。
- 当社独自技術を生かし、事業を成長させ、第2の柱を構築する。

日甜グループ中期経営計画

- 2019年に創立100周年を迎え、さらなる100年に向けて持続的な成長を目指す。
- 事業環境の変化を鑑み、持続的なてん菜・てん菜糖事業を構築し、さらに各事業を発展させる。



第1次日甜グループ中期経営計画

2021年3月期～2023年3月期

第2次日甜グループ中期経営計画

2023年4月以降（予定）

- ・省力化、効率化、環境・品質対策を通じて、砂糖事業のコスト低減を目指す
- ・第2の柱として、食品事業（ドライイースト、オリゴ糖）、飼料事業（配合飼料）、農業資材事業を成長事業と位置づけ

財務目標

単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)	2023年3月期 (目標)
売上高	57,021	54,792	57,000	58,300
経常利益	2,085	2,349	2,300	2,700
当期純利益	1,340	1,642	1,500	1,830
売上高経常利益率	3.7%			4.6%
株主資本利益率（ROE）	2.0%			2.6%



基盤事業

砂糖事業

てん菜耕作省力化への取り組み、てん菜の工場受入れ設備の大型化による効率化、省力化・省エネによるコスト削減、環境対策・品質向上対策への取り組み
包装形態を多様化しユーザーによるハンドリングを向上

不動産事業

各テナントとの友好的な関係を重視しながら、安定収益源として事業継続

次ページに紹介

“第2の柱” 成長事業

食品事業

国内唯一のメーカーである優位性を活かした国産ドライイーストの展開
てん菜糖蜜を活用した「フラクトオリゴ糖」の販売

飼料事業

DFAⅢ（ミネラル吸収促進効果のあるオリゴ糖）を使用した当社独自の機能性飼料の販売拡大と海外市場への模索、牛用サプリメントのネット販売

農業資材事業

2020年4月紙筒事業部に海外事業課を新設、海外販売の拡大
「省力化」を切り口とした農機具の開発、中国企業への移植技術指導を実施

家庭用の
販売増加

有機栽培
への対応



<砂糖事業における設備投資>

製糖効率上昇に資する原料受入・製糖設備の新設増強工事

北海道士別市の砂糖製造拠点である士別製糖所において、原料受入能力と原料処理能力等を増強する工事が2020年9月に完了し、製糖作業の更なる効率化が図られました。



ビートパイラー
※全長約50m

ビートパイラーは荷下ろし装置を持たない大型トラックの原料荷下ろしが可能となり、今後増加が見込まれる大型トラック輸送に対応でき、輸送の効率化が図られました。また、受入能力の増強に加え、従来より荷下ろし口が多くなったため、ドライバーの待機・拘束時間の短縮にも貢献します。



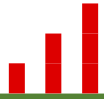
ビート裁断機

ビート裁断機は従来機と比較しモータ出力を増強することで、高裁断での安定化を図りました。また、設備が新しくなり性能が向上したことから、運転管理作業が減少し効率的な運転が可能となりました。



パルププレス1号

パルププレス1号は、糖分を抽出したてん菜を脱水する工程において使用されますが、従来の機械より大型化し、インバータ制御によりきめ細やかな運転管理が可能となりました。これにより、乾燥工程の負荷低減、省エネ効果が期待されます。



3.トピックス



●清川農場の牛舎新築

当社では、帯広市上清川町にある清川農場にて、てん菜の栽培、乳牛の飼育を行っており、てん菜の栽培技術開発に加えて、牛用飼料の研究開発も行っております。

2020年11月には、牛の健康増進や作業員の負担軽減を目的とし、清川農場に牛舎を新築しました。新牛舎の完成を期に、今後一層の農場運営の安定を図り、ユーザーサポートの充実、「乳牛の力を科学で引き出す」健康飼料の提供に努めてまいります。

新牛舎の特徴

☆牛の快適な住環境

- ・一頭当たりの牛床面積の拡張
- ・空調制御システムの導入

☆作業省力化

- ・人手を必要としない搾乳ロボットの導入
- ・除糞作業の自動化システムの導入

【目標】
牛の健康と乳生産を
サポートする飼料



作業員の負担軽減



搾乳ロボット(写真提供:コーンズ・エージ)

アニマルウェルフェアへの対応



●多様な働き方の実現に向けて

当社では、従業員一人一人が健康でいきいきと働ける職場が、組織全体の活力へと繋がっていきと考えております。そのために、育児、介護や病気療養時等多様化する働き方へ対応する制度の拡充を行っております。

その一環として、2020年度までに以下の制度を新設しました。

①有給休暇の法定繰越期限を越えて利用できる特別休暇の用途増加

従来からの長期病気療養に加え、家族の看護や介護、短期の病気療養を追加しました。

②育児短時間勤務制度の期間延長

取得可能な期間を、法定の3歳未満から小学校入学までに延長しました。

③病気治療および育児、介護との両立支援制度

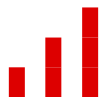
会社指定の病気の治療時や、育児・介護の為に通常の勤務が難しい場合に、時差出勤や短時間勤務、所定外労働の免除を選択することができるようになりました。

④在宅勤務制度の導入

病気療養や妊娠・出産、育児・介護等の為に通常の勤務が難しい場合に実施出来る在宅勤務制度を導入しました。また対象者へのテレワーク用パソコンの無料貸与、在宅勤務手当の支給等、在宅勤務による両立支援を後押しする制度を拡充しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、特に東京本社や札幌支社を中心に、上記事由にかかわらず在宅勤務を推進しております。

今後も多様な働き方に対応すべく、制度の拡充に努めてまいります。



4. 参考資料



会社概要

23

	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ
社名	日本甜菜製糖株式会社 Nippon Beet Sugar Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田三丁目12-14 ニッテン三田ビル
設立	1919年6月11日
代表者	取締役社長 惠本 司
資本金	82億7千9百万円
従業員数	747名（連結）
事業内容	砂糖事業（ビート糖、精糖、糖蜜等） 食品事業（イースト、オリゴ糖等食品素材、製菓製パン用仕入商品等） 飼料事業（配合飼料、ビートパルプ等） 農業資材事業（育苗用資材、農業用機械器具、培土、種子等） 不動産事業（不動産賃貸） その他の事業（貨物輸送、石油類販売等）
連結子会社	十勝鉄道(株)、スズラン企業(株)、ニッテン商事(株)、サークル機工(株)



社是

開拓者精神を貫き、社会に貢献しよう

社会に貢献できる企業に

当社は、国内での砂糖自給体制の確立と北海道の開拓推進を図るため、1919(大正8)年に創立されました。

以来、常にてん菜糖業のパイオニアとして、「開拓者精神を貫き、社会に貢献しよう」の社是のもと、国内甘味資源の確保と北海道寒冷地農業の振興に努めてまいりました。

社会は今大きな変革期を迎えています。当社では、てん菜糖業を中心とした既存事業の経営基盤を強化するとともに、時代に即応した事業展開を図り、常に時代の開拓者としてその社会的使命を果たし、社会から信頼される企業となるよう不断の努力を続けてまいります。



事業紹介

24

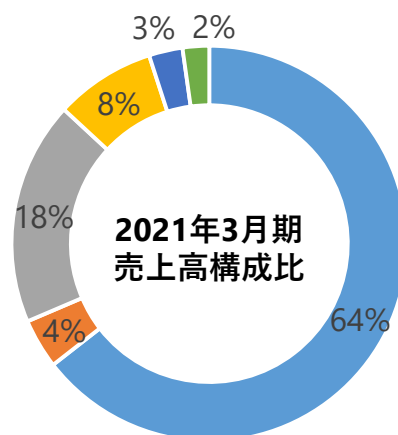
当社は、てん菜(ビート)から砂糖(ビート糖)を製造し、販売しております。

てん菜は日本では北海道だけで栽培されており、作付けから収穫・製糖まで地域社会と密接に関連しています。厳冬期の長い北海道でのてん菜の生育日数を補うために、当社ではビニールハウスでの播種、育苗を可能にした紙筒移植技術確立、てん菜の生産性が飛躍的に増加いたしました。

てん菜が北海道畑作農業における基幹的作物として輪作体系に組み込まれたことにより、地域農業の振興と、ビート糖の安定供給に繋がりました。

また、ビート糖蜜を活用したイースト、オリゴ糖、アミノ酸等の食品製造・販売、ビートパルプを活用した配合飼料の販売、てん菜の栽培技術研究で培ったノウハウを活用した農業資機材の製造・販売等、様々な事業を派生させ、展開を図っております。

- 砂糖事業
- 食品事業
- 飼料事業
- 農業資材事業
- 不動産事業
- その他の事業





砂糖事業

●事業概要

北海道、西日本でお馴染みのスズラン印の砂糖を販売しております。
業務用の砂糖を大手菓子、飲料メーカー等に販売しております。
国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強みです。



※季節性に関する説明

ビート糖の製造は10月にてん菜（ビート）を収穫してから、翌年4月にかけて砂糖を製造いたします。
第三四半期決算期末において仕掛中のたな卸資産が計上されますが、砂糖の売値が下がった場合、
たな卸資産の評価損を計上することになるため、年度により第三四半期の営業損益が悪化する場合があります。

【事業環境】

【国内外の状況】

日本で消費される砂糖の約6割は輸入されております。
約3割が北海道で製造されるてん菜糖（ビート糖）、約1割が沖縄、鹿児島で製造される甘蔗（サトウキビ）糖です。
当社は北海道で製造されるビート糖の4割程度のシェアがあり、
また豪州、タイ等から粗糖を輸入し精製した精糖も製造販売しております。
ビート糖、精糖合わせ日本で消費される砂糖の1割強を当社で供給しております。
（※砂糖は植物に含まれるショ糖を純粋な形で取り出した天然の食品です。ビート糖でも甘蔗糖でも製品に差はありません。）
（※ビート糖、甘蔗糖の生産量は年度により変動します。当社の製造販売するビート糖には精糖の原料となる原料糖を含みます。）

【当社の状況】

当社は北海道の十勝、オホーツク、道北、道央地方の農家の方に原料てん菜を栽培していただき、収穫されたてん菜から砂糖を製造し販売しております。
2020年産の原料てん菜による製糖作業は10月中旬より開始し、4月中旬に終了いたしました。



事業紹介

26

食品事業

●事業概要

ビート糖の副産物である糖蜜を活用し、イーストを製造・販売しております。

日本でドライタイプのイーストを製造しているのは当社だけです。

また、てん菜に含まれる有用成分を抽出した各種食品素材（各種オリゴ糖、ベタイン（アミノ酸の一種）、食物繊維等）を製造・販売しております。



<製品紹介> とがち野酵母

北海道十勝地方のエゾヤマザクラのサクランボから分離された野生酵母です。食パンから菓子パンまで幅広くご使用頂くことができ、焼きあがったパンは穏やかな香味を有します。酵母臭が少なく、小麦やバター等素材の風味が引き立ちます。北海道十勝産の野生酵母であり原料にこだわる方にお勧めいたします。

飼料事業

●事業概要

てん菜に含まれる繊維質であるビートパルプは牛用の良質な飼料になります。

当社では、これにトウモロコシ等を配合し栄養価を高めた牛用の配合飼料を販売しております。

当社の配合飼料はイーストやオリゴ糖を配合した機能性のある飼料を特長としております。



※季節性に関する説明

ビートパルプの製造が10～3月ごろであり、この時期の出荷が多くなります。

<製品紹介> サプラス

糖蜜とアルコールを主原料とする栄養価の高い液状の飼料です。

粗飼料に添加することにより牛の嗜好性が向上します。





農業資材事業

●事業概要

育苗用の資材及び関連する機材等を製造・販売しております。

主力の紙筒はてん菜の収量増を目的に約60年前に自社で開発した移植栽培用育苗鉢で、現在は野菜・花卉・林木等多様な作物に利用されています。

育苗資材はプラスチックを用いた資材が多い中、特殊加工された紙製の紙筒は環境問題から注目されています。また、移植作業の省力化が高く評価され、播種機材や移植機材を含めて国内だけでなく海外に販路を広めています。

※季節性に関する説明

農業資材事業については育苗用が中心のため季節性があります。

天候等さまざまな要因により出荷時期がずれる場合があります。



製品紹介＜CP303＞

筒径3cm、筒高3cmの紙製の鉢を連結した育苗用資材です。移植作業の省力化に役立つことが評価されています。

一本ネギの栽培に適しており、多くのネギ農家の皆様にご愛用頂いております。専用の育苗用培土もご用意しております。





不動産事業

●事業概要

東京都、北海道等でオフィスビル、商業店舗等の賃貸をしています。
帯広市の旧製糖所跡地の一部を再開発した地区（約17万㎡）は、道東で最大規模の複合商業施設となっており、地域の皆様の暮らしに貢献しております。



その他の事業

●事業概要

子会社十勝鉄道(株)は、農作物や飼料等の運搬により十勝の地域経済に貢献しております。
子会社スズラン企業(株)はガソリンスタンド、ボウリング場、書店を経営しており、地域の皆様の暮らしに貢献しております。

※季節性に関する説明

農作物の運搬の多い10～12月に貨物輸送の売上が増加します。
ただし連結会社に対する売上については連結上消去されます。





過去5年間の業績推移

29

- 当社グループは、売上高経常利益率を経営指標として設定し、目標とする売上高経常利益率を4.0%としております。

単位：百万円

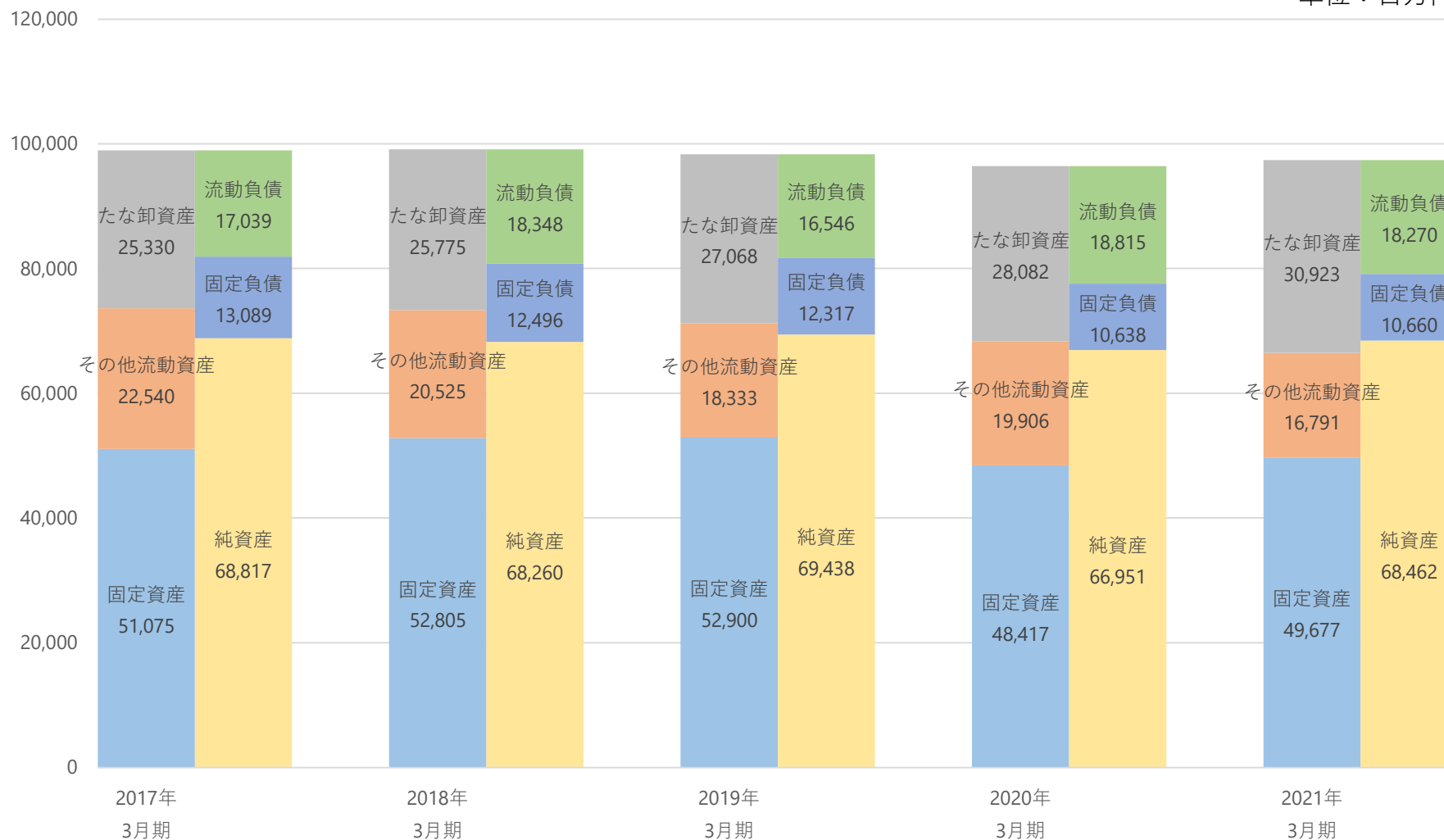
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	58,133	58,895	57,997	57,021	54,792
経常利益	2,518	1,983	2,037	2,085	2,349
当期純利益	1,513	1,223	1,324	1,340	1,642
純資産額	68,817	68,260	69,438	66,951	68,462
総資産額	98,946	99,106	98,302	96,405	97,392
1株当たり純資産額	4,866.59	4,821.55	4,892.67	4,714.90	4,886.11
1株当たり当期純利益額	107.12	86.47	93.37	94.44	115.88
売上高経常利益率	4.3%	3.4%	3.5%	3.7%	4.3%
自己資本比率	69.5%	68.9%	70.6%	69.4%	70.3%
株主資本利益率（ROE）	2.2%	1.8%	1.9%	2.0%	2.4%
売上高のうち砂糖事業の占める割合	69.6%	67.8%	66.1%	66.2%	64.5%



連結貸借対照表の推移

30

単位：百万円



※てん菜糖製造は10月～4月末ごろに行われるため、3月末のたな卸在庫が膨らみます。



株式の状況（2021年3月31日現在）

31

大株主の状況

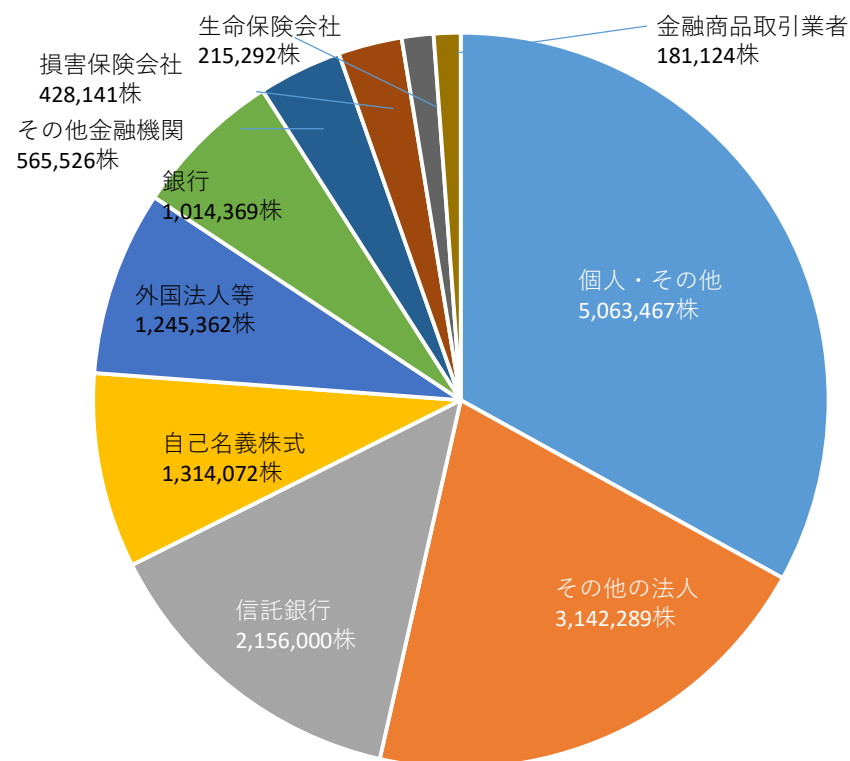
株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
明治ホールディングス株式会社	1,470,845	10.50
ニッテン共栄会	944,888	6.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	664,200	4.74
株式会社 日本カストディ銀行	553,300	3.95
株式会社 みずほ銀行	515,183	3.68
農林中央金庫	514,926	3.68
東京海上日動火災保険株式会社	428,141	3.06
日本通運株式会社	320,288	2.29
三菱商事株式会社	265,300	1.89
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	244,500	1.74

※当社は自己株式1,314,072株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。

※持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

※三菱商事株式会社の保有分については、4月6日にDM三井製糖ホールディングス株式会社に譲渡される予定です。

株主構成分布状況



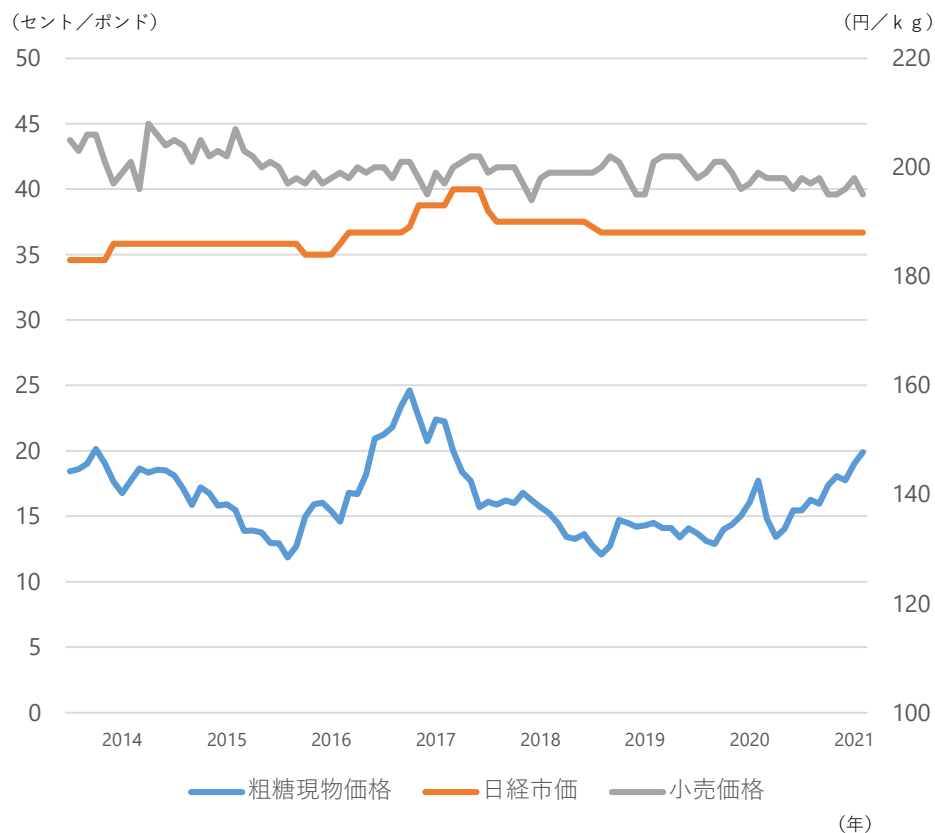


砂糖価格・砂糖消費量

32

砂糖市場の推移

2021年2月現在

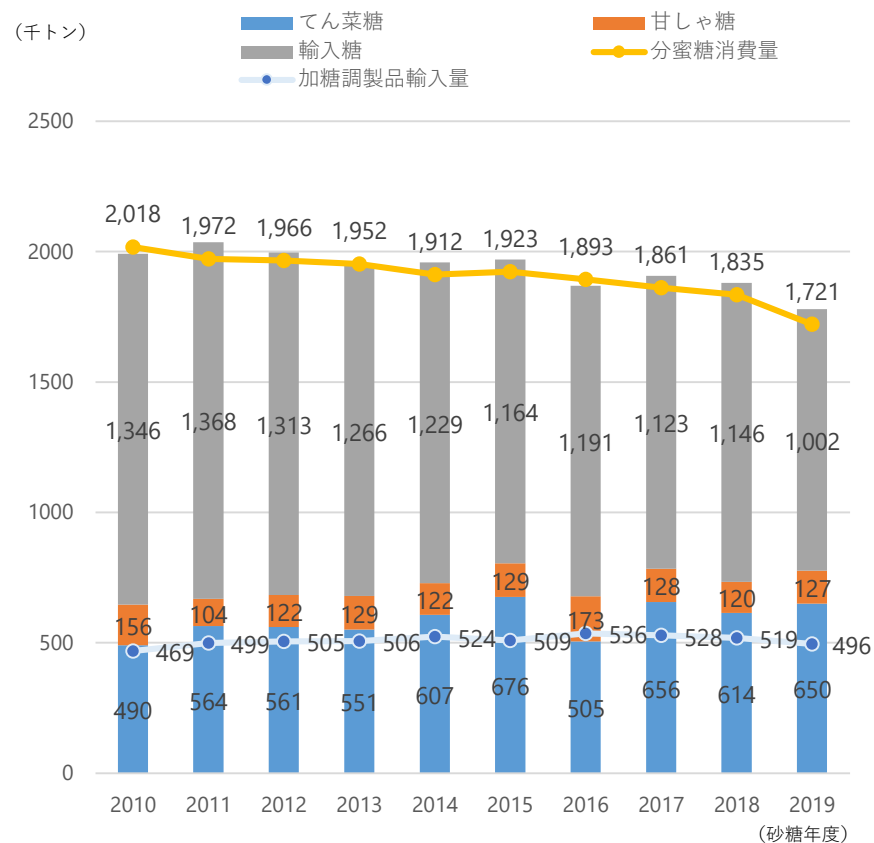


注1：小売価格は、総務省統計局調べ。

注2：日経市価は、日本経済新聞の市中相場（東京、上白、30kg大袋入り）の価格（消費税抜き）で、各月の平均値。

注3：粗糖現物価格は、東京商品取引所・大阪堂島商品取引所調査の粗糖現物価格（月平均価格）

砂糖消費量の推移



※砂糖年度とは、当該年の10月から翌年の9月までの期間

農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」より当社作成

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【お問い合わせ先】

日本甜菜製糖株式会社
管理部管理課

soumutky@nitten.co.jp